

飯島周二君の逝去を悼む

工藤良一（1組）

20年を越す長い間、療養とリハビリを繰り返していた飯島周二君（1組、上田市中野在住）が残念ながら8月15日に亡くなったと、奥様より電話が入りました。この時勢なので、18日、家族葬として営まれるとのことでした。

ご冥福をお祈りいたします。

思えば、周二君は高校の頃から世間をよく知っている人でした。

大学を卒業後、しばらくは東京で研ナオコのマネージャーをしていたようですが、二十代後半に上田に戻り居酒屋を始めました。同期が初めて一堂に会し同期会を行った頃でしたので、多くの仲間が店に通ったと思います。

しかし、一人で営む忙しさもあり廃業して、四十代は「かなもと青果」に入って、サラリーマンとして着実に歩み始めました。

48歳で倒れなければ、もっと楽しい人生を過ごすことが出来たのではないかと残念でたまりません。

急だったので、同級生始め皆さんにご連絡出来ず申し訳ありません。

当日、同級の北澤光二、竹下通廣、田中穂積の3氏とともに、通夜に参加してお見送りしてきました。 合掌

【写真：高校2年の時、烏帽子岳登山で仲間たちと、後列右端が飯島君、後列左から二人目が筆者（工藤）】



(2021年8月19日記)

以上